

事務事業名		大船渡市魚市場維持管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業					
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目					
	施策名	011 地域活力を担う水産業の振興					会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	051 水産加工・流通機能の強化					12	01	01	01	03	
根拠法令		地方卸売市場大船渡市魚市場管理規則			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分					
所属	部課名	農林水産部 水産課					A 政策事業 B 施設整備					
	課長名	鈴木 満広					C 施設管理 D 補助金等					
	係名	漁政係	電話	27-3111	E 一般(A～D以外)							
	担当者	浅田 治樹	内線	373								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
大船渡市魚市場の土地、建物などの施設の管理を行う。主な内容は、光熱水費の支出、施設修繕、施設管理の委託等である。 平成26年度から、新しい大船渡市魚市場に施設を移行し、地方卸売市場大船渡市魚市場条例に基づき、活性化施設等の管理を大船渡魚市場株式に指定管理委託した。 平成27年11月から漁船員向けの福利厚生施設である魚市場共用施設が供用開始され、平成28年2月から南側岸壁上屋が供用開始となった。					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金					
							都道府県支出金					
							地方債					
							その他			39,017		
							一般財源				2	
							事業費計(A)			39,019		
					正規職員従事人数							
					延べ業務時間							
					人件費計(B)			0				
					トータルコスト(A)+(B)			39,019				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費等の支出事務。施設管理業務の委託。施設修繕対応等。</li> <li>・ダクト内のエフロ除去⇒定期的に除去作業を実施予定(指定管理経由で発注)。</li> <li>・ポンプ4台の点検実施。</li> </ul>		ア	施設不具合対応件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	保守管理委託契約件数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度とほぼ同じ内容。</li> <li>・上記に加えて、ポンプの定期部品交換と海水殺菌装置のランプ灯20本の交換を実施予定。</li> </ul>		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大船渡市魚市場</li> <li>・魚市場利用者</li> </ul>		名称	
		単位	
		カ	大船渡市魚市場施設面積
		キ	大船渡市魚市場買受人数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を維持管理することで、魚市場業務が円滑に実施できるようにする。</li> </ul>		名称	
		単位	
		サ	施設設備の不具合修繕件数
		シ	修繕等要望への対応率
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水揚量が増える。</li> </ul>			

(2) 総事業費・指標等の推移

	年度	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	28,023	37,598	39,017	43,000	35,000	35,000
		一般財源	千円			2			
	事業費計(A)	千円	28,023	37,598	39,019	43,000	35,000	35,000	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	
	人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,223	38,798	40,219	44,200	36,200	36,200	
⑤活動指標	ア	件	7	14	7	6	5	5	
	イ	件	3	7	6	5	4	4	
	ウ								
⑥対象指標	カ	m <sup>2</sup>	18,975	18,975	18,975	18,975	18,975	18,975	
	キ	者	84	84	85	86	87	88	
	ク								
⑦成果指標	サ	件	7	14	7	6	5	5	
	シ	%	100	100	100	100	100	100	
	ス								

事務事業ID	0582	事務事業名	大船渡市魚市場維持管理事業
--------	------	-------	---------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 ・公設市場を開設したことによる。(大船渡魚市場:昭和39年、細浦魚市場:平成5年)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 ・地方卸売市場大船渡市細浦魚市場は平成25年7月1日に用途廃止し、8月1日地元漁協へ無償譲渡された。  
 ・平成25年度末に新魚市場が完成したため、平成26年度以降は指定管理制度に則った施設管理としている。旧施設は新魚市場完成後に解体した。  
 ・旧魚市場解体跡地に建設した南側岸壁上屋を、平成28年3月より供用開始した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 ・新しい魚市場の建設時には想定できなかった、施設の修繕費や保守費用が発生した。  
 ・今後は、定期的なメンテナンス費用が必要になると思われる。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、その円滑な運営は、当市水産物水揚量の確保・増大、ひいては水産業振興に大きな役割を果たすものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・公設市場であり、地方卸売市場大船渡市魚市場条例に基づき市が行うべき部分に関する事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・対象は魚市場施設とその利用者、意図はその適正な維持管理であり、ともに適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・新しい魚市場は、全国的に見ても先進的な高度衛生管理機能を持った魚市場である。 ・そのため、当初は想定できなかったメンテナンス費用が発生する可能性があるため、今後はそれに合わせた維持管理費用を予算化する必要がある。 ・しかしながら、魚市場の機能向上などにより、そのコスト以上の水揚増加の可能性がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・適正な維持管理ができなくなり、魚市場の円滑な運営に支障を来すことから、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・経常経費の削減に努め、必要最低限の予算で対応しており、これ以上の削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・活性化施設の維持管理は指定管理委託しており、人件費は通常の施設管理に係る最低限事務処理経費のみである。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・事業に要する費用は、主に魚市場施設使用料であり、受益者が負担しているものである。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・基本的にコストは、設備のメンテナンス時期に合わせて必要最小限の範囲で増減させる考え方で事業を実施するが、指定管理のあり方について、成果向上に向けて指定管理者と協議を継続的に行う必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	活性化施設の活用による地域振興について、指定管理者を中心に取り組んでいく。